

(2) 搬出困難なトランスの搬出促進のための現場対応

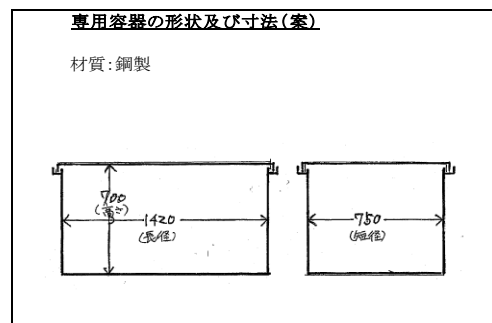
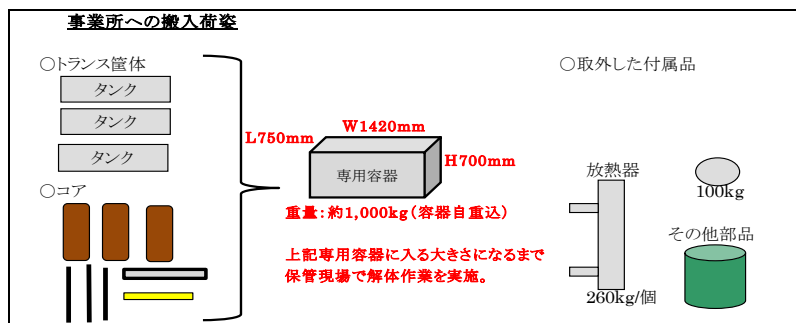
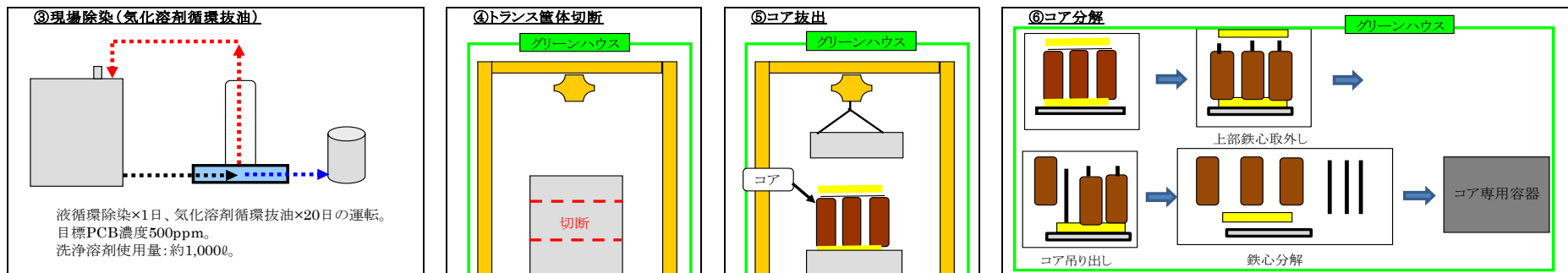
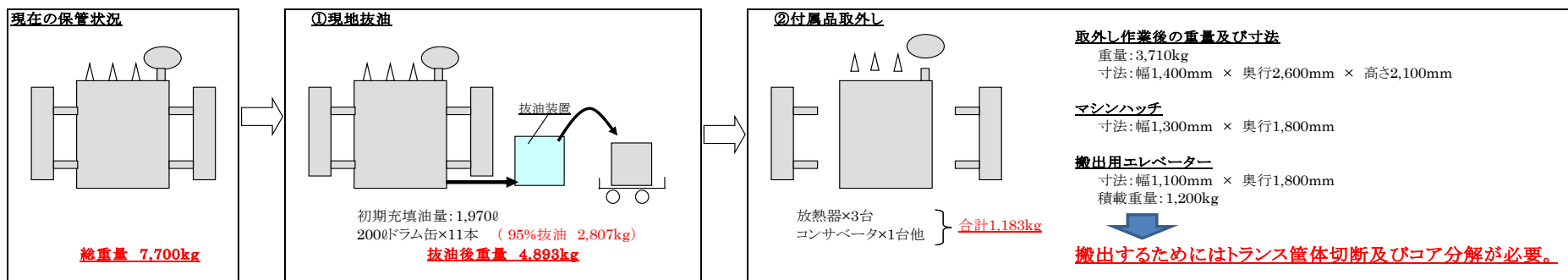
大阪PCB処理事業区域には、保管事業所で抜油や付属品の取外しを行っても、建物の構造上、保管場所から搬出できないトランスが3台存在する。

これら3台のトランスについては、トランス内部のPCB濃度を低減させた上で、トランスを切断、分割し、JESCO施設に搬入させる技術を実証試験を重ねて確立した。

【対象機器】

No	保管事業者	容量(KVA)	油量(L)	総重量(kg)	寸法(mm)			製品状態
					W	L	H	
1	Y社	4,500	4,000	16,900	2,850	3,345	3,515	地下6階、エレベータ設置
2	Y社	4,500	4,000	16,900	2,850	3,345	3,515	地下6階、エレベータ設置
3	P社	400	490	2,100	1,600	1,120	1,870	地上100m、エレベータ重量超過

【作業内容】(例)



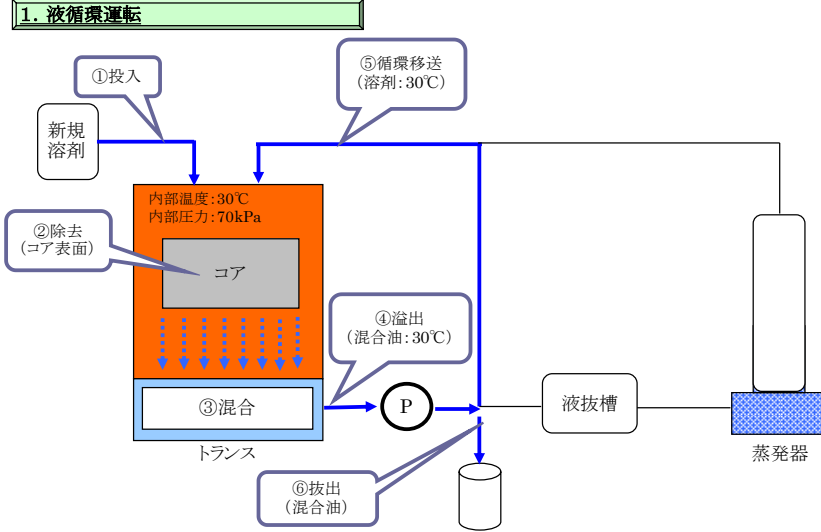
【概要】

超大型機器及び搬出不可機器等保管場所からの搬出又はJESCO処理施設への搬入が不可能な機器の処理を促進するため、保管現場で機器の解体(筐体切断・コア抜き等)、機器内部のPCB濃度を低減させ収集運搬を可能にする。

【運転方法】

1. 液循環運転

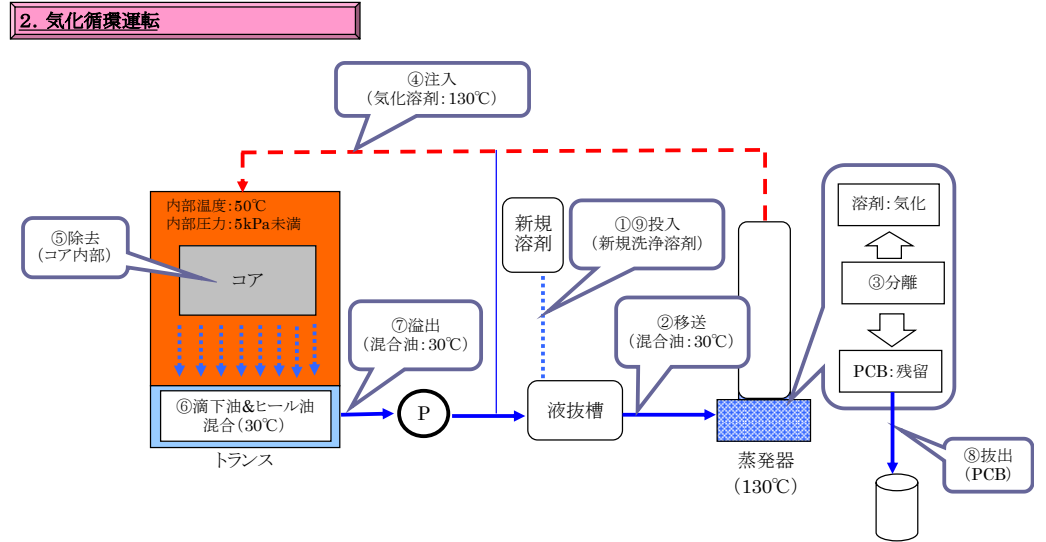
PCB濃度低減効果をもとめるため、現場抜油・付属品取外し後にトランス筐体底部に残っているPCB油を抽出するため、トランス筐体に洗浄溶剤を投入し、ポンプ循環を数回実施します。



- ① 現地抜油・付属品取外し後のトランス筐体に新しい洗浄溶剤を投入します。
- ② 洗浄溶剤がコア表面のPCB油をせん断除去し滴下します。
- ③ 滴下油(洗浄溶剤とコア表面PCB油混合)がトランス底部残留PCB油と混合されます。
- ④ 混合油が溢出します。
- ⑤ 溢出油(洗浄溶剤とPCB油混合)をポンプで抽出し、再度トランス筐体に循環移送します。
(②～⑤を数回繰り返す)
- ⑥ 循環後、溢出油を系外に抽出します。

2. 気化溶剤循環運転

液循環運転を数回繰り返した後、気化循環運転を繰り返します(数日～数週間)。



- ① 液抜槽に新しい洗浄溶剤を投入します。
- ② 洗浄溶剤を蒸発器に送液します。
- ③ 蒸発器で単蒸留操作により気化ガスと蒸発器残液とに分離されます。
- ④ 気化ガスをトランス筐体に注入します。
- ⑤ 気化ガスがトランス筐体内で凝縮され、コア内部のPCB油を浸透除去し滴下します。
- ⑥ 滴下油(洗浄溶剤とPCB油混合)がトランス底部残留PCBと混合されます。
- ⑦ 混合油をポンプで抽出し、蒸発器へ移送します。
(②～⑦の作業を目標濃度(500ppm)になるまで繰り返します。)
- ⑧ 蒸発器残留PCB油を適宜系外に抽出します。
- ⑨ 循環する洗浄油の量を確認し適宜新しい洗浄溶剤を追加投入します。